

すくわくプログラム

実施報告書

施設番号	66-0194
施設名	練馬二葉保育園
施設所在地	練馬区豊玉南 3-31-15
法人名	社会福祉法人和敬会
活動期間	令和 6 年 7 月～令和 7 年 3 月
実施回数	7 月 2 回、8 月 1 回、10 月 1 回、11 月 1 回、1 月 1 回、2 月 1 回、3 月 1 回
対象クラス	3 歳児クラス (21 名)、4 歳児クラス (21 名)
活動内容の公表	活動内容のドキュメンテーションを作成し園内に貼り出して周知した。

テーマ 音

テーマの設定理由 当園では聴く力を育み、表現を拡げる音環境を大切に保育しています。

いろいろな音に気付いたり触れたりする中で、探究活動を楽しみ自分なりの表現を豊かにしていって欲しいという思いがありました。

【事例 1】

活動名 テラスに出て風を感じる

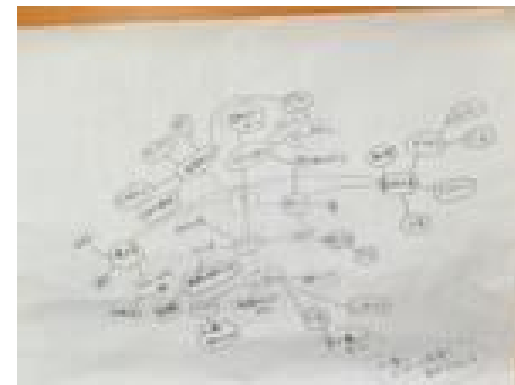
○ねらい 自然を感じ風を感じる

○活動内容 テラスに出て風を感じ、風鈴の音に気付く

○用意した環境 二つの風鈴を吊り下げた

子どもたちの様子

風の音ってどんな音だろう？と耳を傾けていく中、風鈴の音にも気が付きました。
こっちの音が好き！と鉄の風鈴を指さしていました。



保育者の振り返りと気付き

・夏に風情のある物を、と風鈴を吊り下げて見ました。鉄の風鈴とガラスの風鈴の音が違う事にも気が付いて「どっちの音が好き」と教えてくれました。保育士同士で話し合い、保育ウェブを作成しました。どんな音に興味を持つのかとても楽しみです。

【事例2】

- 活動名 水笛
- ねらい 水笛を吹いて色々な音が出せることに気付く
- 活動内容 容器に水を入れてストローで吹くと音が鳴ることを楽しむ
- 用意した環境 ヤクルトの容器と細工をしたストローを用意する。



子どもたちの様子

廃材政策の中からヤクルトの容器を見つけて、水を入れてみる。
細工をしたストローを吹いてみると「鳥の声みたい」と素敵な音色を発見した。
水の量やストローの角度で自分の好きな音が鳴るように調整するようになった。



保育者の振り返りと気付き

自分で好きな音出せるようになったことを友達とお互いに情報を共有している姿があった。自分なりの工夫をして色々な音を出す姿が見られた。
他の音の興味へ繋げていく。

【事例3】

- 活動名 雷の音を感じる
- ねらい 自然の音を聴く
- 活動内容 外の音に気付いて、自然現象に興味を持つ
- 用意した環境 窓際で危険が無いよう安全に配慮した

子どもたちの様子

ゴロゴロと雷が鳴って窓の側に集まってきた子どもたち。
「きゃ〜！」と悲鳴を上げながらも笑顔も見られました。ドキドキしながらも
「光ってるね」「光ってからゴロゴロ聴こえる」とまた新たな発見があった。

保育者の振り返りと気付き

恐いと泣きだすこともなく、自然現象を見たり聴いたりすることを楽しんでいる様子だった。光や音などその他のことについても興味を拡げていきたい。



【事例4】

- 活動名 自然の中で音探し
- ねらい 身近な自然の中でどんな音が聞こえるのか、興味・関心を持つ。
- 活動内容 公園の中で枝や石などを持って、叩いたりこすったりしてみる。
- 用意した環境 近くの公園に出掛ける。草木の多い場所を選んだ。



子どもたちの様子

気に入った木の枝を見つけて垣根を揺らした子が「さらさらっていうね」と葉っぱと枝のこすれる音を見つけました。それに合わせて保育者が歌を歌うと近くにいた子も真似を始め、合奏ごっこに発展していきました。

保育者の振り返りと気付き

友だちの気付きに共感し、他の物でも音が出るのか色々試し見る楽しさを味わっていた。自然物の音を聴いたり、一緒に歌って友達との関わりもより深まってくように感じられた。

【事例5】

- 活動名 様々な打楽器に触れる
- ねらい 様々な楽器の鳴らし方を知り、音の特徴や違いに気が付く
- 活動内容 楽器の名前や鳴らし方を知らせ、楽器の音色の違いを楽しんでいく
- 用意した環境 鉄琴、タンバリン、シンバル、カスタネット



子どもたちの様子

楽器によって音の響き方の違いに気が付き「なんだか雷の音みたい」「これは氷の音！」と音のイメージを広げる姿がありました。また音程の違いにも気が付き音の高さによって受ける印象も変わっていました。



保育者の振り返りと気付き

それぞれの楽器の印象を言葉で表し、イメージを膨らませている様子があった。子ども達の言葉をホワイトボードにまとめ共有していった。今後も音のイメージから楽器を使って表現を楽しめるような環境を整えていきたい。

【事例6】

活動名 和楽器ワークショップ

- ねらい 日本の伝統的な文化、楽器を知り、日本古来の音を楽しむ。
- 活動内容 尺八、三味線、太鼓の演奏を聴く。一緒に歌ったり、音あてゲームをする。太鼓をたたいてみる。
- 用意した環境 2階を広げて良く見えるよう環境を整えた。マイクや太鼓など準備してもらっている。



子どもたちの様子

初めて見る楽器やその音に驚いたり、聞き入ったりしていた。

太鼓が近付くと「どんどんって体が鳴るね」と振動を感じていた。

太鼓をたたくことで腕からも音が伝わる経験をしもっとやってみたいとの声も多く聞かれた。



保育者の振り返りと気付き

近くで楽器の演奏を聴くことで体感する感覚はとても新鮮に伝わっていたと思う。日本の伝統楽器になかなか触れることがないので今後もそういった機会を増やしていきたい。音が振動だという事への気づきを生かし発展させていきたい。

【事例7】

活動名 発表会

- ねらい 自然の中で見つけた音のイメージを季節ごとのグループにわかれて表現し、伸び伸びと発表することを楽しむ。
- 活動内容 季節のイメージや雨や雷の音を楽器で表現し、最後はクラス全員で「にじ」の合奏を行う。
- 用意した環境 生涯学習センターのホールにて発表会を行う。



子どもたちの様子

「みんなに見付けた音を聴いてもらおうの楽しみだね!」「うまくいくかなあ」と少し緊張しながらも発表が始まると、それぞれの担当している楽器を使って伸び伸びと楽しみながら発表することが出来て嬉しそうな様子だった。



保育者の振り返りと気付き

今までの子どもたちの気づきを大切にしていき、季節の音を一緒に考えていった事を発表会の舞台上で表現することが出来た。自分の気づきを表現する楽しさを感じ、これからも楽器遊び、音遊びを楽しめるような環境を整えていきたい。

【事例8】

活動名	楽器遊び
○ねらい	楽器を使って色々な音を楽しみ簡単な合奏遊びを楽しむ
○活動内容	自分の興味のある楽器でリズムを叩いたり、簡単な楽譜を使って演奏を楽しむ。
○用意した環境	室内に楽器コーナーと簡単な楽譜を複数用意し、自由に楽器遊びを楽しめるようにしていった。



子どもたちの様子

「発表会の時に〇〇ちゃんがやっていた楽器これだったよね」と友達が演奏していた楽器に挑戦してみたり
「こんな叩き方すると違う音みたい」と同じ楽器でも叩き方を変えると違う印象を受ける様子があった。
その中で「せーのでやろう！」と音を合わせて簡単な合奏を楽しむ姿もあった。



保育者の振り返りと気付き

発表会後も楽器や音への関心が続いているので、自由に演奏できる環境を整えていった。その中で一人だけでなく友達と一緒に演奏することで音の重なりも楽しめる様子も増えてきていた。音が振動であるとの気づきも活かし、絵や色などで表現できたらよかったと思う。今後も楽器コーナーをはじめとし、戸外へ行った際にも色々な音に興味を持てるような関わり方をしていきたい。



打楽器セットで色々な音を出してみる